

絵本と出会うふれあい事業

あかちゃん・えほん・だいすき



福山市

もくじ

あかちゃんといっしょに絵本を楽しみましょう……………	2
はじめてであう絵本……………	3
リズム・うた……………	5
せいかつ……………	6
どうぶつ……………	8
たべもの……………	9
のりもの……………	10
ものがたり……………	12
絵本の選び方……………	13
Q & A……………	14
図書館をご利用ください……………	17
絵本と出会うふれあい事業……………	18

あかちゃんと絵本の出会い

あかちゃんに絵本なんてまだ早いと思いませんか？
絵本は、あかちゃんがはじめて出会う本です。

0～3歳までが人間の成長にとって、大切な思考力や想像力を育てるとても大切な時期で、おはなしの世界はことばやイメージを豊かに育みます。あかちゃんにとって絵本は心の栄養となります。

あかちゃんといっしょに絵本を読むことによって、読み手の愛情が深くしみこんでいき、心の安定につながります。この楽しいスキンシップの時間は、あかちゃんにとってかけがえのないものとなるでしょう。

食物はからだの栄養、本は心の栄養です。

あかちゃんといっしょに 絵本を楽しみましょう

絵本を楽しむための5つのポイント

- ★ **0歳から絵本を読んであげましょう。**
よみきかせは0歳から楽しむことができます。あかちゃんは、頭の中にことばを貯めているのです。
- ★ **手のとどくところに絵本を置いておきましょう。**
絵本もおもちゃのひとつです。楽しみたい時に、いつでも手にとれるよう置いておきましょう。
- ★ **同じ絵本でもくりかえし読んであげましょう。**
くりかえし読んでほしい本は、子どもには宝物です。大切に読んであげましょう。
- ★ **心をこめて読んであげましょう。**
心のふれあいによって、「豊かな心」を育むことができます。
- ★ **どのページもまるごと(絵・ことば)楽しみましょう。**
絵本は“絵”と“ことば”で一つの作品になっています。表紙から最後のページまですべて大切にしましょう。

はじめて であう絵本

生まれてはじめて出会う
絵本は、家族にとっても大
切な一冊になるでしょう。
お気に入りの絵本を見つ
けてください。

『いないいないばあ』

瀬川康夫/画 松谷みよ子/文
童心社

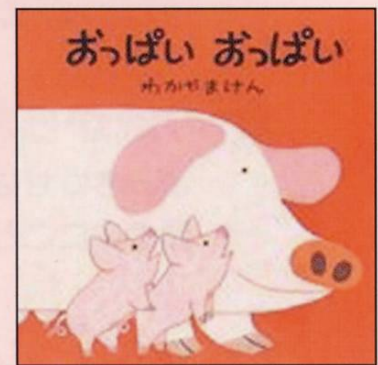
「にゃあにゃが、ほらほら、いな
いない、ばあ」
いろいろな動物が、いないいな
いばあ。



『おっばいおっばい』

わかやま けん/さく
童心社

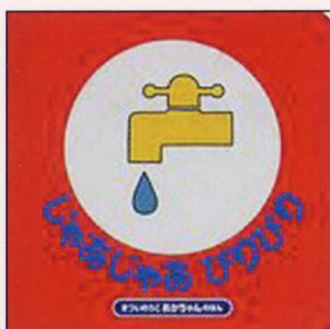
さるさん、こぶたさん、くまさん…。
あかちゃんは みんなおっばい
が大好き。おっばいので お
おきくなってね。



『じゃあじゃあ びりびり』

まつい のりこ/さく
偕成社

みず じゃあじゃあ、かみ びり
びりびり。楽しい音がいっぱい
です。



『がたんごとん がたんごとん』

安西 水丸/さく
福音館書店

「がたんごとん がたんごとん
のせてくださーい」ほにゅうび
ん、コップ…いろいろなものが
やってきます。



『おひさま あはは』

前川かずお/さく
こぐま社

おひさまが「あはは」とわらい
ます。おおきな木も、ことりも「あ
はは」。ぼくもいっしょに「あ
はは」。



『でてこい でてこい』

はやし あきこ/さく
福音館書店

「だれか かくれているよ でてこい でてこい」と言うと、何かがとびでてきます。何がかくれているのかな？



『ぴよぴよぴよ』

平野剛/さく
福音館書店

ぴよぴよと 1わのひよこ。
ぴよぴよぴよと 2わのひよこ。
ぴよぴよぴよぴよと…
たくさんのひよこが あるいて
いるよ。



『ばいばい』

まつい のりこ/さく
偕成社

たくさんの動物たちが「こんにちは」とやってきます。
いっしょに「こんにちは」
「ばいばい」言えるかな？



『かお かお どんなかお』

柳原良平/さく
こぐま社

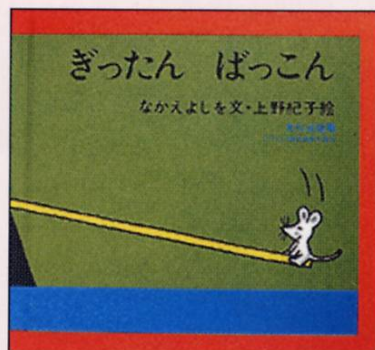
かなしいかお、おこったかお、すっぱいかお。いろんなかおに会えます。おなじかおができるかな？



『ぎったん ばっこん』

なかえ よしを/文 上野紀子/絵
文化出版局

ぎったんばっこんに、とりさんがのると、ねずみくんがやってきた。みんなで ぎったんばっこん 楽しいね。



『おつきさま こんばんは』

林明子/さく
福音館書店

よるになったよ。おそらがくらいくらい。おや やねのうえが明るくなった。おつきさまだ。おつきさま こんばんは。



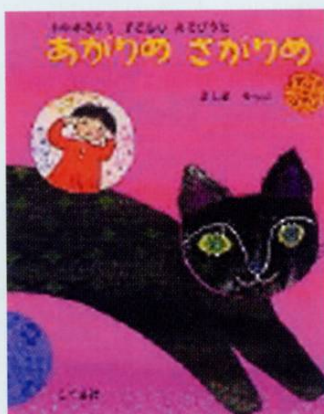
リズム・うた

あかちゃんは楽しい音や歌が大好きです。いっしょに楽しみながら読んで歌ってあげてください。

『あがりめ さがりめ』

ましま せつこ/絵
こぐま社

「あがりめ さがりめ」のほか「げんこつやまの たぬきさん」など、わらべうたや手あそびがいっぱい。あかちゃんといっしょに やってみましょう。



『がちゃがちゃ どんどん』

元永定正/さく
福音館書店

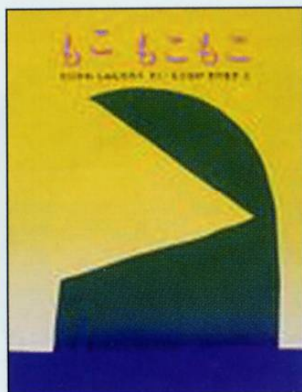
「がちゃがちゃ どんどん」いろいろな音がとびだします。音にあわせて手をたたいたり体をゆらしたりしてみよう。



『もこもこもこ』

たにかわ しゅんたろう/さく
もとなが さだまさ/え
文研出版

「もこ」「によきによき」とふしぎな音と、つぎつぎに形がかわっていくように、くぎづけです。



『うたえほん』

I・II・III

つちだ よしはる/え
グランママ社

「ゆりかごのうた」「ことりのうた」などを収録。やさしい気持ちで歌ってあげましょう。



『たまごの あかちゃん』

やぎゅう げんいちろう/え
かんざわ としこ/ぶん
福音館書店

たまごに「でておいでよー」と呼びかけると、かわいいあかちゃんがでてきます。



『ねんねこ さっしゅれ』

ひぐち みちこ/さく
こぐま社

「ねんねこ さっしゅれ」などこもりうたを集めた絵本。



『あがりめ さがりめ』

いまき みち/さく
福音館書店

「あがりめ さがりめ ぐるりとまわって ねこのめ」さあ、いっしょにやってみましょう。じょうずにできるかな？



『とんでけ とんでけ おおいたい!』

梅田俊作・佳子/さく
岩崎書店

「いたい いたいの とんでいけー!ほい!」どこまでとんでいったかな？



せいかつ

あかちゃんの世界が広がってくると、身のまわりのことにも興味を持ちはじめます。発達にあわせて、絵本を選んであげてください。

『しっこっこ』

西内ミナミ/さく 和歌山静子/え
偕成社

「おやおや あめこんこん?」せみもいぬも みんなしっこっこ。ゆうちゃんもトイレでしっこっこ。



『おててがでたよ』

林明子/さく
福音館書店

「あれあれあれ なんにもみえない。おててはどこかな」「て」「あたま」と指さしながら読んでみましょう。



『タンタンのぼうし』

いわむら かずお/さく
偕成社

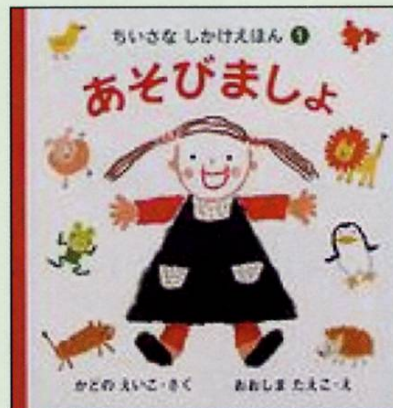
おさるのタンタンのだいすきなぼうし。まわしたり ころがしたり。ひょいとなげたらおちてこない。どうしたのかな？



『あそびましょ』

かどの えいこ/さく
おおしま たえこ/え
あかね書房

動物たちといっしょに何をしてあそぼうかな？ページをひらくと、楽しいあそびがでできます。



『そら はだかんぼ』

五味太郎/さく
偕成社

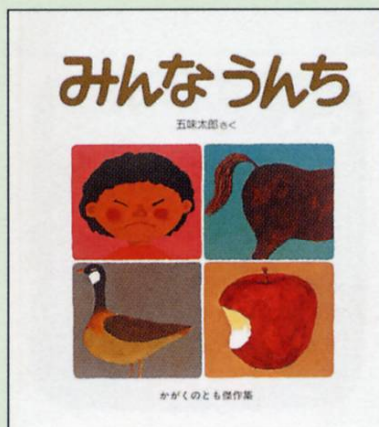
「お風呂にはいりなさい」という声でライオンくんは「ふく」をぬぎますが…。あれ？どうなっているの？



『みんな うんち』

五味太郎/さく
福音館書店

いろんな動物,いろんなうんちがでてくる楽しい絵本。もちろん人間もでてきます。



『はけたよ はけたよ』

にしまき かやこ/え
かんざわ としこ/ぶん
偕成社

たっくんは ひとりでパンツはけないんだ。どうしたら うまくはけるかな？



『お風呂で ちゃぷちゃぷ』

松谷 みよ子/ぶん
いわさき ちひろ/え
童心社

タオルとせっけんを持ったあひるちゃんが行くところは？お風呂が好きになる絵本。



どうぶつ

あかちゃんは動物に興味しんしんです。みちかな動物や、動物園でしか見られない珍しい動物まで、親子でページをめくって楽しみましょう。

『どうぶつのおやこ』

藪内正幸/画
福音館書店

動物の親子ってどんな生活をしているのかな？写真とはちがった あわい絵で、動物の特徴をうまく描いています。字のない絵本。



『わんわん わんわん』

高島純/さく
理論社

いぬが「わんわん」となっているとねこが「ニャーゴ」とやってきた。つぎは「ぶひぶひ」とぶたがきて…。



『ようい どん』

わたなべ しげお/ぶん
おおとも やすお/え
福音館書店

うんどうかいの くまくん「はしをとんとんと わたります。どすん!あれれ…」



『ぞうのボタン』

うえの のりこ/さく
富山房

ボタンをはずすと いろんな動物がでてくる字のない絵本。最後は あっと おどろきます。



どうやって ねるのかな』

やぶうち まさゆき/さく
福音館書店

シマリスは どうやってねるのかな？動物たちが ねるときのようすがわかる絵本です。



『かばくん』

岸田衿子/さく 中谷千代子/え
福音館書店

日よりの朝 動物園に かめをつれた男の子がやってきました。かばくと かめの会話が楽しい絵本。



『ねずみくんのチョコッキ』

なかえ よしを/さく 上野紀子/え
ポプラ社

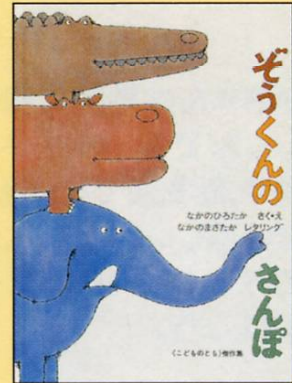
おかあさんが あんでくれたねずみくんのチョコッキ。ちよつとみせてよと みんなが やってきました。



『ぞうくんのさんぽ』

なかの ひろたか/さく
福音館書店

きょうは いいてんき。ぞうくんがあるいていると かばくんに会いました。かばくをせなかにのせて ぞうくんのさんぽが はじまります。



たべもの

しぜんと絵本に手がのびて、お口をモグモグしてしまう、おいしいたべものの絵本。たくさん食べて大きくなってね。

『しろくまちゃんのほっとけーき』

わかやま けん/さく
こぐま社

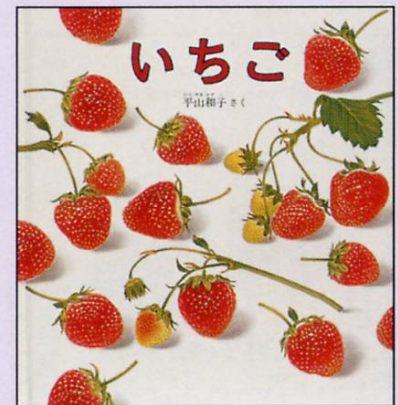
しろくまちゃんは おかあさんとホットケーキをつくります。おいしいホットケーキはできるかな？



『いちご』

平山和子/さく
福音館書店

おいしい いちごが できるまでわくわくしながらページをめくりましょう。そしてさいごは「いただきます」



『やさいのおなか』

きうち かつ/さく
福音館書店

「これ なあに？」半分に切った やさいのおなか。何かわかるかな？いっしょにかんがえよう。



『りんご』

松野正子/ぶん 鎌田暢子/え
童心社

あかいりんご きいろりんご
ぴんくのりんご。かわをむいて
しろりんご。ああおいしい。



『おやまごはん』

西内ミナミ/さく 和歌山静子/え
偕成社

ニンジンさんとピーマンさんと
たまねぎさん。ほかにもたくさん
はいった おやまごはん。さあ、
できあがり!



のりもの

男子だけでなく、女の子にも乗り物は人気です。何度もページを開きたくなるのりもの絵本を紹介します。

『じどうしゃ』

わかやま けん/さく
こぐま社

いろんなじどうしゃが できます。
小さくて しょうぶな あかちゃん絵本。



『ずかん・じどうしゃ』

山本忠敬/さく
福音館書店

バスやトラックなどのはたらく車など
いろいろな種類の車が描かれた図鑑。
長く愛され読みつがれてきた本です。



『のりものいっぱい』

柳原良平/さく・え
こぐま社

自動車に電車に船など 目玉のついたシンプルな形の乗り物がいっぱい。



『のせてのせて』

松谷みよ子/ぶん 東光寺啓/え
童心社

まこちゃんの じどうしゃに「ストップ!のせてのせて」とうさぎが やってきます。
くまや ねずみの家族ものせてドライブへ出発!



『ちいさい しょうぼうじどうしゃ』

ロイス・レンスキー/さく
わたなべ しげお/やく
福音館書店

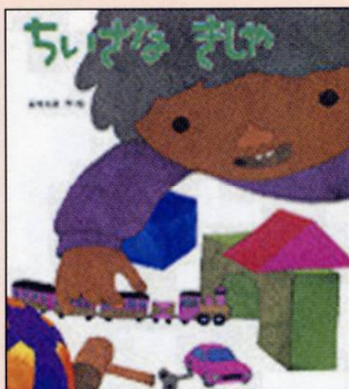
ちんちんちん!かじを知らせるベルです。スモールさんと ちいさい しょうぼうじどうしゃは?



『ちいさなきしゃ』

五味太郎/さく
岩崎書店

おもちゃの 小さなきしゃが 走りはじめた。しゅっぽっぽと ぼくの上をかけまわる。



『とべ!ちいさい プロペラキ』

小風さち/さく 山本忠敬/え
福音館書店

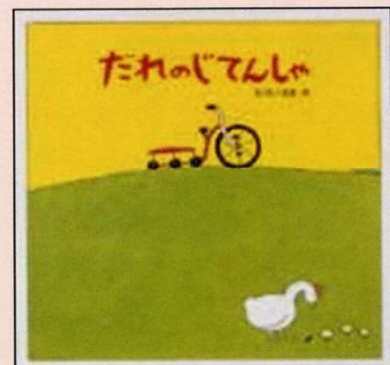
あるひ ちいさなプロペラきのまえに おおきなジェットキが やってきて…。



『だれのじてんしゃ』

高畠純/さく
フレーベル館

大きなじてんしゃ 小さなじてんしゃ。かわった形のじてんしゃもあります。これはだれのじてんしゃかな?



ものがたり

成長とともに言葉が増えてくると、少し長いおはなしに挑戦を。さらに世界を広げてあげましょう。
(3歳ぐらいから)

『おおきな かぶ』

内田莉莎子/再話
佐藤忠良/絵
福音館書店

みんなで おおきな かぶをぬきましょう。「うんとこしょ どっこいしょ」



『とらくんとぼく』

カザ敬子/さく
西村書店

ぼくは ねずみ。ただの小さなねずみ。とらくんは でっかくて つよい。ぼくたちは だいの親友さ。



『ぐりとぐら』

なかがわ りえこ・
おおむら ゆりこ/さく
福音館書店

のねずみの ぐりとぐらは みつけた卵でカステラをつくります。そこへ動物たちが やってきて…。
子どもたちが大好きなロングセラー。



『アイラのおとまり』

バーナード・ウェーバー/さく
まえざわ あきえ/やく
ひさかたチャイルド

アイラはレイジーの家におとまりに行くことになりました。でも ひとつだけ心配があります。



『わたしのワンピース』

にしまき かよこ/さく
こぐま社

空からおちてきた 白いぬの。うさぎさんはミシンでワンピースをつくります。まっ白いワンピースは いろんな もように変わります。



どんな絵本を選んだらいいのか、 悩んでいませんか？

絵本の選び方のポイント

- ★ 色・線・形のはっきりしたもの
- ★ 心地よいことばのひびき、リズムのあるもの
- ★ 発達段階にあったもの
- ★ 読み継がれてきたもの

発達段階に応じた絵本の楽しみ方とは？

- ★ 0歳～ ことばのリズムを楽しむ
絵の中に知っているもの（動物など）を見つけて喜ぶ
- ★ 1歳～ 身のまわりの物や出来事を理解し始める時期
日常生活を描いた「生活絵本」を楽しめる
- ★ 2・3歳～ 好奇心いっぱい、生活の広がりと同時に理解の幅も広がる時期
自分の体験と重ねて読める絵本を喜ぶ

年齢別で絵本を分けるのは難しいことです。しっかりお子さんとふれあう中で、絵本を選んであげてください。

発達段階や興味のあることごとによって、一人ひとり反応が違って当然です。絵本によっては何歳向けか表示してありますが、こだわる必要はありません。「目安」として、絵本選びの参考にしてください。

また、良い絵本の判断材料の一つとして、いつ出版されたものかチェックしてみてください。20年以上前から読み継がれてきた絵本は、それだけ多くの子どもに愛されてきた絵本です。中には、親子3代にわたって楽しんできた絵本もあることでしょう。

Q & A

今までにあった、お母さん・お父さんからの質問を紹介します。
あかちゃんと一緒に絵本を楽しむヒントにしてください。

Q どんなふうに読んだらいいかわからない。

A . ゆったりとした気持ちで、楽しく読んでください。あかちゃんに絵を見せながら、ゆっくり・はっきりと愛情をこめて読んでください。

Q どのくらいから本がわかるのですか？

A . あかちゃんは、生まれた時から音（ことば）にととても敏感です。
心地よいリズム感をそのまま感じ取ります。耳からのことばの体験をたくさんさせてあげましょう。大好きなお母さん・お父さん（身近な人）の優しい声で絵本を読んであげてください。あかちゃんにとってかけがえのない幸せな時間になるでしょう。



Q 子どもが本をかじるのですが…
破るのですが…なめるのですが…

A . あかちゃん（小さい子ども）にとって、絵本はおもちゃのひとつなので、かじったり投げたりして遊ぶことがあります。破れた場合は、一緒にテープで貼って修理したり、「本が痛いって言うてるよ」と言って絵本を大切にすることを伝えましょう。（図書館で借りた本を破った場合、図書館で修理します。破ったことを、返却時に職員に言ってください。また、図書館の本は不特定の方が利用するという性質上、あかちゃんが口に入れたりしないよう気をつけてあげてください）

Q & A

Q すぐ違うことに興味がいき、じっと本を見ないのですが、どうすれば見てくれるのでしょうか？

A . あかちゃんは、絵本の話よりも、ページをめくること自体が楽しいのかもしれませんが。最初のうちは、パラパラ見たり、気に入った所だけを読んであげても良く、何度も繰り返すうちに『じっと聞くもの』ということがわかってきます。無理強いせず、根気よく続けてみてください。あかちゃんはお母さん・お父さんの優しい声（ことば）を身近に聞きながら、楽しい時間を一緒に過ごすのが、うれしいのです。

Q 文字のない絵本は、どのように読んであげたら良いですか？

A . お母さんがお話を作って読んであげるのも良いですし、登場するものの名前を言うだけでも良いです。子どもが新しい言葉を覚えるのに役立ちます。
絵をみながら語りかけましょう。

Q 兄弟がいる時、どちらに合わせて絵本を選んだら良いですか？

A . 両方の子どもそれぞれに、選んだ(希望の)本を読んであげてください。小さい時は、お母さん・お父さんが責任をもって良い絵本を選んでください。(わからない時は、ブックリストを参考にするか、図書館で職員に尋ねてください。)
大きくなって、それぞれが自分で本を選ぶようになって、読み聞かせ習慣をつけておけば、兄弟で一緒に楽しく聞いてくれます。

Q & A

Q 何歳くらいまで読み聞かせしてあげると良いですか？

- A . 絵本を読んでもらうのは、とても楽しいことです。「もう自分で読めるのだから」と言わないでください。絵本は絵とお話を一緒に楽しむもので、特に小さな子どもは、人に読んでもらうことで、絵をみながら話の内容を理解していきます。幼児期を過ぎても子どもが希望する時は、いつでも読んであげてください。
同じ絵本を繰り返し読んでほしいと言う時は、何度でも繰り返し読んであげてください。絵本の世界に夢中になり楽しんでいる証拠です。

Q 毎日時間を決めて読むのがいいのか、気が向いた時が良いのかあからない。

- A . 「読んで」とせがまれたら、できる限り読んであげてほしいのですが、イライラしたり、時間を気にしながら読むのは、よくありません。気持ちを《ゆったりモード》に切り替えてから始めてください。
絵本の読み聞かせは継続が大切です。そのためお母さんの無理のない時間をできるだけ決めて、読んであげることが望ましいです。食事の後でも寝る前でも、ゆったりとして気持ちの落ち着いた時に、その家族なりの絵本タイムを持ちましょう。
絵本を読むときは、テレビは消してください。

Q 本を読むと字を早く覚えられますか？

- A . 絵本は早期教育のための「教材」ではなく、心を育て、親子のコミュニケーションを豊かにするものです。知識が増え、文字を覚えるというのは副産物としてとらえ、親子で絵本そのものを楽しんでください。

図書館をご利用ください

図書館の貸出券はあかちゃんから作ることができます。

(ひとり10冊まで2週間借りられます)

図書館では、ここに紹介した以外にもたくさんの絵本をそろえていますので、お気軽にご相談ください。

また、あかちゃんと保護者を対象にした催しもおこなっていますので、ぜひご参加ください。

図書館のおはなし会

★ あかちゃんといっしょのおはなし会

★ おはなしの時間

毎週土曜 15:00~15:30

くわしくは、図書館ホームページの行事案内をご覧ください。

<http://www.tosho.city.fukuyama.hiroshima.jp/toshow/index.asp>

● 近くの図書館は…

福山市中央図書館

tel.084-932-7222

水呑分室

tel.084-956-3943

福山市松永図書館

tel.084-933-3770

福山市北部図書館

tel.084-976-4822

福山市東部図書館

tel.084-940-2575

福山市沼隈図書館

tel.084-987-5630

福山市新市図書館

tel.0847-52-5551

福山市かなべ図書館

tel.084-962-5053



絵本と出会うふれあい事業

乳幼児は心が育つ大切な時期であり、心とことばを豊かに育むためには、親と子のふれあいや語りかけの時間が必要です。

福山市では、※乳幼児健康相談の時間を利用し、図書館司書があかちやんと絵本の出会いの大切さを話し、絵本の紹介や楽しむポイントを伝えています。

「絵本と出会うふれあい事業」の日程は「広報ふくやま」でお確かめください。

※ 乳幼児健康相談

乳幼児の心身の健全な発育・発達を支援します。

日 時：「広報ふくやま」をご覧ください。

内 容：問診，身体測定，発育発達の確認，育児相談，
歯科相談，栄養相談

担当者：保健師，歯科衛生士，栄養士

費 用：無料

● 育児で困った時は相談しましょう

福山市保健所健康推進課

tel.084-928-3421

松永支所保健福祉課

tel.084-930-0410

北部支所保健福祉課

tel.084-976-8803

東部支所保健福祉課

tel.084-940-2567

神辺支所保健福祉課

tel.084-962-5055

沼隈支所保健福祉担当

tel.084-980-7704



絵本と出会うふれあい事業

あかちゃん・えほん・だいすき

2010年（平成22年）3月 発行

発行 福山市中央図書館

編集 福山市中央図書館

〒720-0812

福山市霞町1丁目10番1号